

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 什器備品・・・定額法によっている。
 (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	9,073,873	1,846,154	0	10,920,027
(2) 俳句資料室事業引当資産	3,850,317	1,059	0	3,851,376
小 計	12,924,190	1,847,213	0	14,771,403
合 計	384,424,758	1,847,213	0	386,271,971

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	10,920,027	(0)	(10,920,027)	(10,920,027)
(2) 俳句資料室事業引当資産	3,851,376	(3,851,376)	(0)	(0)
小 計	14,771,403	(3,851,376)	(10,920,027)	(10,920,027)
合 計	386,271,971	(3,851,376)	(382,420,595)	(10,920,027)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	6,594,025	6,491,421	102,604
合 計	6,594,025	6,491,421	102,604